**令和3年度　沼ノ端児童センター　利用者アンケート調査結果**

【実施期間】令和4年2月1日(火）～15日（火）

【対象者】沼ノ端児童センター利用者

【回収件数】48件（児童19件　中高生8件　保護者21件）

【調査方法】施設内にアンケート用紙を設置、回収ボックスにて回収。

**<児童センター　児童>**

**1 センターのおもちゃはどうですか？**

【増やしてほしいおもちゃ（児童からの意見）】

・バスケットボール

・卓球の玉

【指定管理者考察】

ほぼ満足していると考えてよい。

おもちゃについては、種類としてはかなり多い。おもちゃの状態を見ながら、新しい

ものを補充している。今年度は、ピンボール、迷路、ウノを補充した。

バスケットボールについては、看護学校から寄贈があり数としては充分すぎるほど

ある。これ以上増やしても、せまい遊戯室では危険である。ボールの状態を見て

必要があれば更新していきたい。卓球の玉は在庫はあるが、全部出すとすぐ壊して

しまうので、少しずつ出している。

**２ 本や漫画についてはどうですか？**

【増やしてほしい本（児童からの意見）】

・進撃の巨人

・呪術廻戦

・東京リベンジャーズ

・夏目友人帳

【指定管理者考察】

図書については、漫画を中心に充実している。今年度は、子どもたちに人気が

あるという「不思議駄菓子屋銭天堂」シリーズを全巻揃えたが、漫画に比べると

あまり読まれていない。

要望があった、進撃の巨人、呪術廻戦、東京リベンジャーズ、夏目友人帳

はそれぞれ、一部購入済みである。前年度購入した七つの大罪、五等分の花嫁は続きを購入した。その他、ちはやふる、ダイヤのエースⅡ、銀の匙などを主として運協の予算で購入した。

**３ 児童センターのルールはどうですか？**

【変えてほしいルール（児童からの意見）】

・器具室に自由に入れるようにしてほしい

【指定管理者考察】

ルールについてはおおむね満足していると思われる。

「器具室の出入り」については、勝手に出入りして幼児用のおもちゃを使って壊したり、器具室の中で遊んでぐちゃぐちゃにしたという事例があったため、職員に声をかけ、必要なものをとってもらうというルールを徹底している。

職員に声をかけるだけなので、声をかけやすいようにしたい。

**４ 児童センターのイベントについてはどうですか？**

【やってみたいイベント（児童からの意見）】

・このままで

・かくれんぼ

・お祭りをやりたい

・いまのままでいい

【指定管理者考察】

コロナ禍の制約の中で、楽しめるように工夫して取り組んできたため、ほとんどの児童には楽しんでもらえているようである。

ただし、センター祭りやサマーナイトのような大きなイベントは、感染対策の為、人数制限をし、飲食を伴う屋台などは実施しないぬまっこフェスやサマーフェスとして実施してきた。今後のコロナの感染の広がりを見極め、お祭りの内容や規模を考えていきたい。

「かくれんぼ」とあるが、意外とシンプルな内容で盛り上がることが多い。伝統的な遊びも取り入れたイベントも工夫したい。

**５　センターの先生はどうですか？**

【先生にしてほしいこと（児童からの意見）】

・とてもいいひと

【指定管理者考察】

職員に対する評価は高い。明るい笑顔と挨拶を大切に子どもたちと接してきていることが信頼につながっていると思われる。

これからも、子どもたち1人1人を大切に、よりそっていくことができる職員でありたい。

**６　困ったことや心配なことを相談しやすい雰囲気ですか？**

【子どもたちからの意見】

【指定管理者考察】

半数以上の児童が相談しやすい雰囲気ではないと回答している。職員への評価の高さ、中学生では全員が相談しやすいと答えていることを考えると意外である。設問を正しく理解できていなかったのかもしれない。あるいは、職員を信頼はしても、少し距離感を感じているのかもしれない。今後は、子どもたちとより密接に関わり、より信頼感を深めていきたい。

**７-1遊戯室で好きな遊びは何ですか？**

【子どもたちからの意見】

・ボール遊び　・サッカー　・増やし鬼　・マンカラ　・マンカラ　・オセロ　・かたき

**7-2増やしてほしい道具はありますか？**

・バスケットボール

【指定管理者考察】

遊戯室での遊びは、バスケットボール、かたき、ひらめきが多かった。また、バドミントンや卓球をやる子も多かった。

小学校低学年から、中学生までが一緒に遊ぶので、カタキやヒラメキは中学生は左手で投げるなどルールを工夫した。バスケットボールや卓球、バドミントンなど、時間や場所を分けて安全に遊ぶようにすることで、異学年で遊ぶことができるようになってきた。

バスケットボールについては、設問１の考察の通り。

**８　センターを利用したくなるには？**

【子どもたちからの意見】

・このままでいい

・携帯やスイッチを使いたい。お菓子を食べたい。

・スマホを使えるように

・スマホ

・いろいろな祭りをやったらいいと思う

・利用はもともとしたい

・スマホを持ってこられるようになる

・時間を決める

なんでも

特にない。もともと利用したいと思っている。

【指定管理者考察】

スマホについては、小学校高学年くらいになると、遊びに行くときは日常的にスマホを持ち歩いている子が多いのが実情である。公園で遊ぶときは、自由にスマホを使っており、屋根のある公園である児童センターでは、なぜスマホを使えないのかという意見であろう。

児童センターは、センターのおもちゃで遊んだり、他の友達と体を動かして遊んだりすることろであり、その中でスマホを使う必要はなく、むしろ邪魔になる。また、スマホは高価なものであり、多くの人が出入りする中で紛失、破損などの恐れもあることなど、説明して納得してもらう。

**９　自由記入**

・スマホを使えるように。お願い。

・新しいドッチボール用のボールが欲しい

・スマホ

【指定管理者考察】

スマホについては前項の通り。

ドッチボールやカタキ、ヒラメキのときには、ある程度重さがありながら当たってもいたくないソフトフォームドボールを使用している。年齢や体力が異なる子どもたちが安全に楽しく遊ぶことができるが、他のボールに比べて高価でありながら耐久性が劣る。ある程度の破損は、補修をして使っているのが実態である。ボールの傷み具合を見ながら、新しいボールを出したり、購入したりしていきたい。